

# ヨコハマ市民まち普請事業

## 第2次整備提案書

### 1 整備提案の概要

整備提案名	横浜寿町ホテルビレッジ街化事業
案グループ名	横浜寿町ホテルビレッジ街化事業実行委員会
したい場所 所	中 区 寿町、扇町、松影町 2、3、4 丁目 (丁目まで記入下さい。詳細な番地は必要ありません)
助成申請予定額	想定整備費用 500 万円 整備助成申請予定額 500 万円
い施設の概要 の概要	街の外部環境を改善するための座りながら楽しめるアメニティボードライブラリーの整備。 卓球台のような機構で地面から高さ約30cm、2m角の折りたたみのできる仮設の盤を作成し、街の人がたまれる縁台を、さらには、みんなが楽しめる将棋などのゲームを行えるサロンスペースを街の外部空間に創り出す。
設計及び工事のスケジュール (設計、工事発注、完了時期など) 注1)	1月、台車フレーム最終設計 2月、第一次盤・コマ設計(15組)、台車フレーム発注(5台) 3月、第一次盤・コマ作成(住民達による) 4月、↓ 5月、第一次作成完了 6月 7月 8月、第二次盤・コマ設計(15組)、台車フレーム発注(5台) 9月、第二次盤・コマ作成(住民達による) 10月、↓ 11月、第二次作成完了
維持管理の方法	さなぎの家を中心に維持管理を行っていく。使用場所となる寿町勤労者福祉協会や寿公園については、各団体と協働して管理を行い、設備自体のメンテナンスは、地域住民とともにっていく。

注1) 工事完了後、横浜市が完了検査を実施します。また、必要に応じて中間検査を実施する場合があります。

### 2 公共性について

提案の背景にある地域の課題やニーズについて、記入してください。	3畳という、どやの部屋の狭さから来る精神的疲労、不法投棄や廃車が置かれた外部空間、公共空間におけるアメニティ性の欠如、朝から晩までやることがない人々。単身高齢で家族もなく、会話する機会も乏しい。  住人は本能的に宿泊所から外部へと出て行く。しかし、そこには、不法投棄や廃車が散乱するゴミの空間であり、さらには、集まるような空間も、座る設備もなく、ただ地べたに座り込むという現状がある。街の外部から来た人にとっては、近寄りがたい現状と見られるかもしれない。
備したい施設が、どのような人たちに利用され、また地域でどのようにに役立つと考えますか？	この施設は街の住人、及び街を訪れる観光客の人々によって使用される。上記のようにこの地の住人にとって、外部空間はなくてはならぬ、サロンの空間であり、この外部を快適に過ごすためのツールとして利用される。しかし、それだけでは、今までの状況を設備的に改善したにほかならない。 私達は、この状況に新たな風を吹き込むために、街の外から人が訪れるような状況を創り出した。この人達と、街の住民をミックスするためにこの施設を利用することで、設備的な改善だけでなく、メンタル的な改善をも行える施設になると考えている。

### 3 創意工夫について

整備したい施設について、計画上創意工夫している点を記入してください。	単身高齢者の多いこの町では、homelessだけでなく、hopelessやfamilylessといった問題がより濃く表面化している。この設備は、あえて一人では使用できないように計画しているため、数人で協力して準備をし、使用し、片づける必要がある。協調性や団体活動を強制しようというわけではないが、人と話す機会をあえて創出する試みとして位置づけている。 そして、極端に簡単で、極端に普遍的な仕様にするにより、老人から若者まで、さらには、日本人から外国人まで利用できるみんなのツールとして計画している。
------------------------------------	--

<p>整備工事における地域での費用や労力の負担について、創意工夫している点を記入してください。</p>	<p>地域になじみのある工務店に協力を得ることにより、街の働き口のない人々にジョブトレーニングという形式で、雇用を提供。短期的な雇用ではあるが、社会復帰へのきっかけになればと考えている。さらには、街の住民が自分たちでつくることにより、愛着をもたせられるものになればと考えている。</p>
<p>の維持管理における地域での関わり方について、創意工夫している点を記入してください。</p>	<p>さなぎの家をターミナルとして管理を行っていく。常識的最低限のルールを設定し、適合者に対して貸し出し、使用後に返却される、いわば、本を貸し出すように設備を貸し出していく。</p>

#### 4 実現性について

<p>整備計画について、関係者との調整状況等を記入してください。</p>	<p>使用場所としての寿公園、寿町勤労者福祉協会への使用許可の合意。民生委員への施設の説明と合意。地域住民として、簡易宿泊所のオーナーへの施設の説明、アイデア出し、運営協力。専門業者との相談のもと、提案図面を洗練。</p>
--------------------------------------	---

#### 域まちづくりへの発展性に展性について

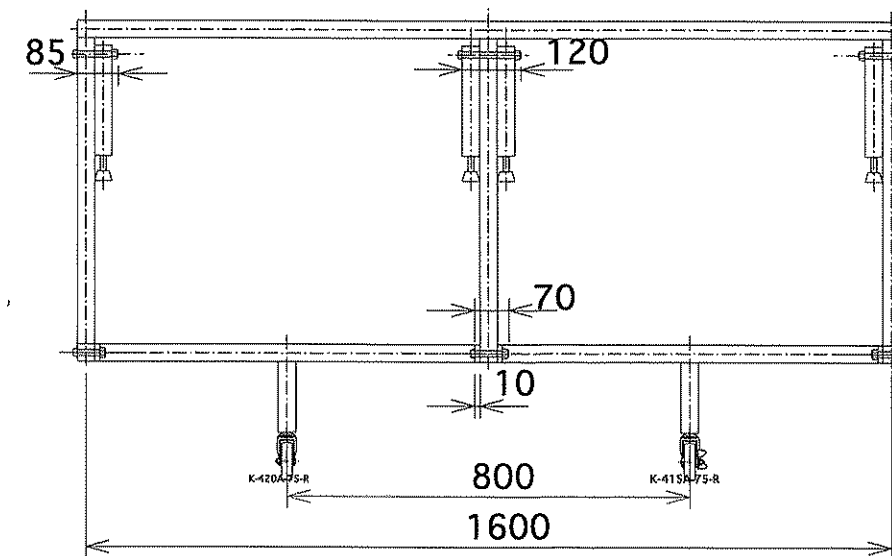
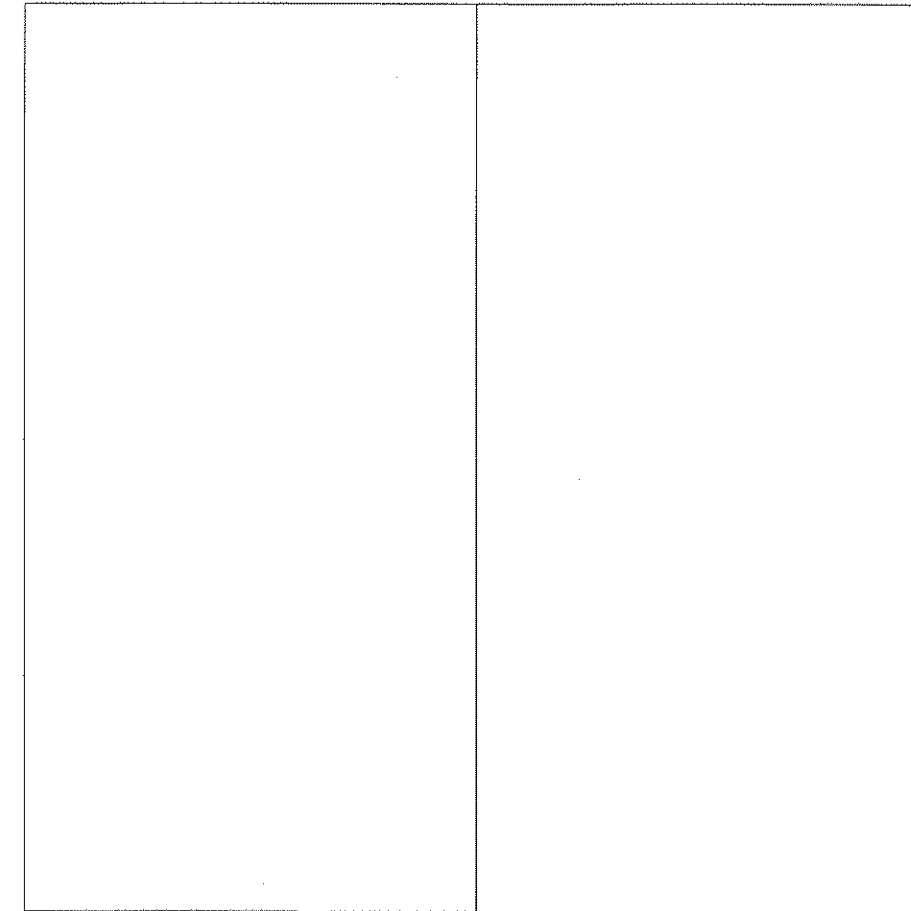
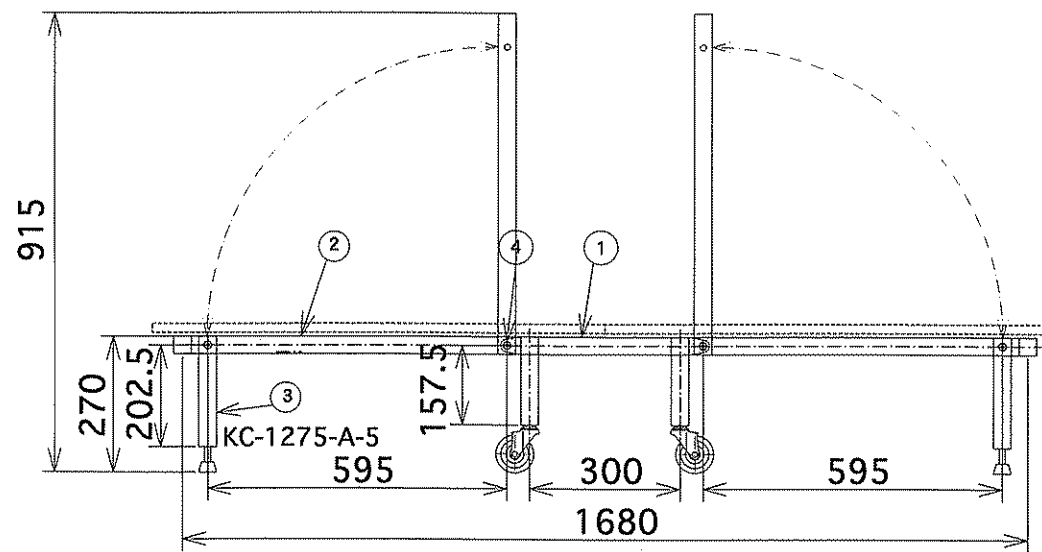
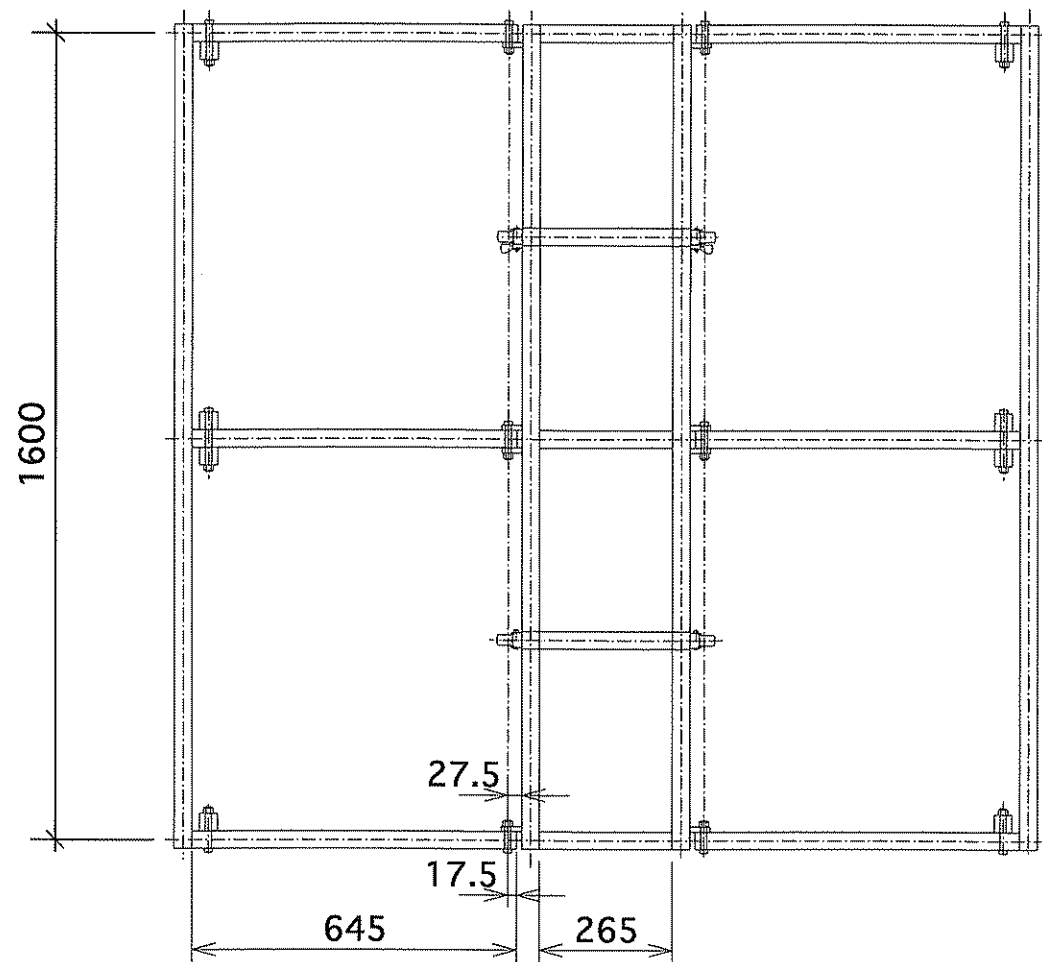
<p>整備をきっかけに地域のコミュニティ形成やまちづくり活動が発展する可能性について、記入してください。</p>	<p>整備をきっかけに、街の外部空間を使いやすいように環境を改善するとともに、イメージを改善させていく。使用する人のみが楽しめるのではなく、周りを困って見ている人もみんなで楽しめることを目的とし、疑似ファミリーを創り出すことにより、引きこもりなどの精神的病を予防することを考えるとともに、ともに準備し、ともに使い、ともに片づけるという協調性を培う場になると考えている。さらには、寿の外から訪れる外国人、学生等と、街の人達との交流を創出する場として本施設が利用されることを考えている。</p>
--	---

--	--

#### 6 特にPRしたい点

<p>整備提案について、特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<p>私達は、今回の整備提案に対して、3つの対象を設けて活動を行ってきました。その対象とは、街の住民、役所（横浜市、中区）、横浜市民です。</p> <p>私達は、今回の街普請事業を単なる整備事業とも考えていませんし、在住している住民だけが行うものとも考えておりません。というのは、この街はあまりにも人口構成が偏りすぎているため、当然その住民のみで行っても、対応仕切れるはずがありません。</p> <p>そのため、まず私達が起こしたアクションとは、横浜市民および世界の人々に対する寿の”開放”です。現実に今寿では、ドイツのアーティストが堂々と街中でパフォーマンスを行っていたり、オランダのバイオリニストが街の住民のためにチャリティーコンサートを行ったりと、街の外の人達もこの街を愛し、街に尽くしてくれるのです。この状況をアーティストだけでなく、街を訪れる一般の人達にも、自然と街へと参加できる環境を作りたいという思いもあり、今回の提案を行いました。街の人は、ただ、話のできる相手・楽しめる相手がほしいだけなのです。街に住む人、街を管理する人、街を訪れる人、この3つの側面から今回の提案を考えました。</p>
--	--





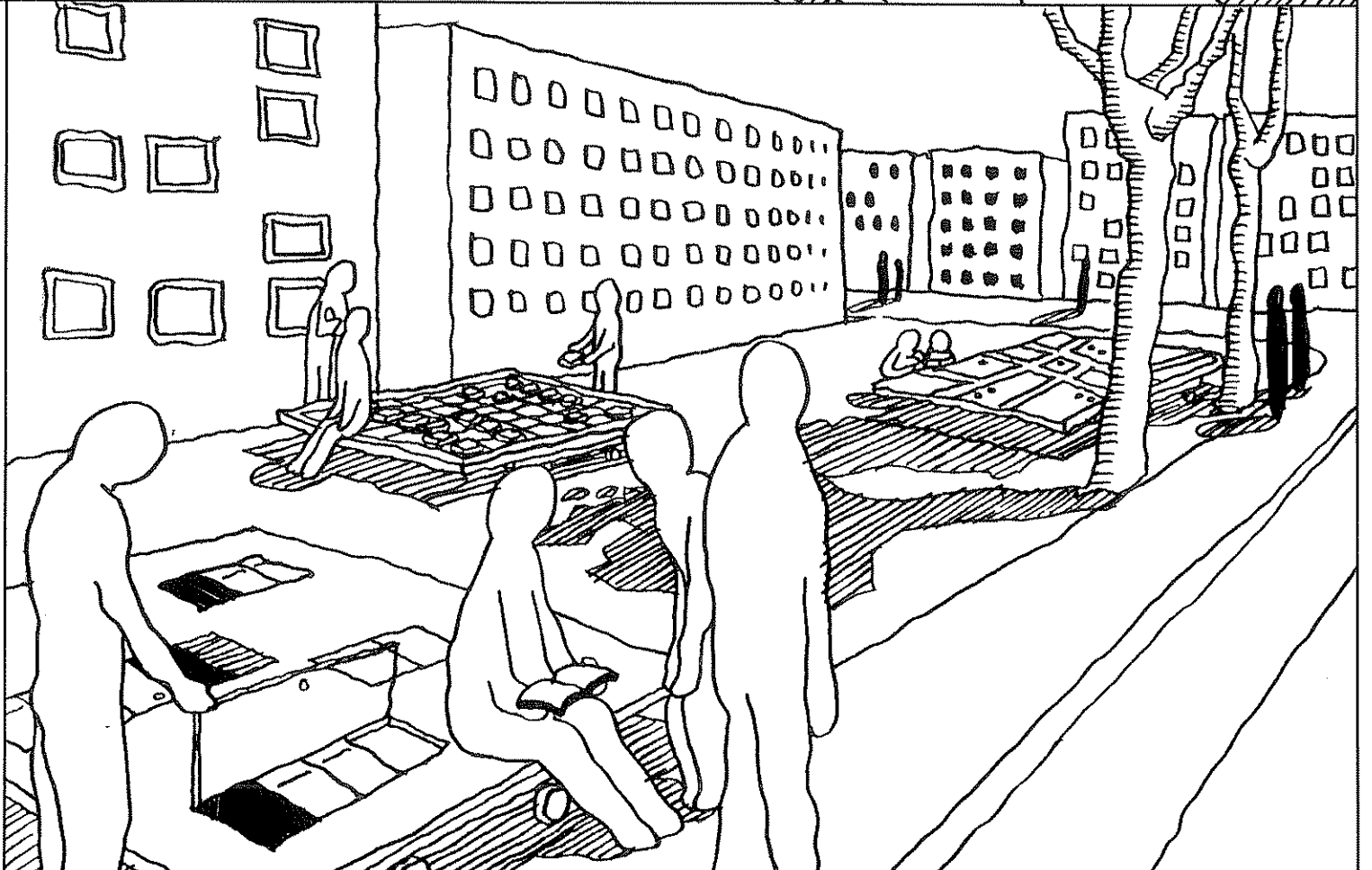
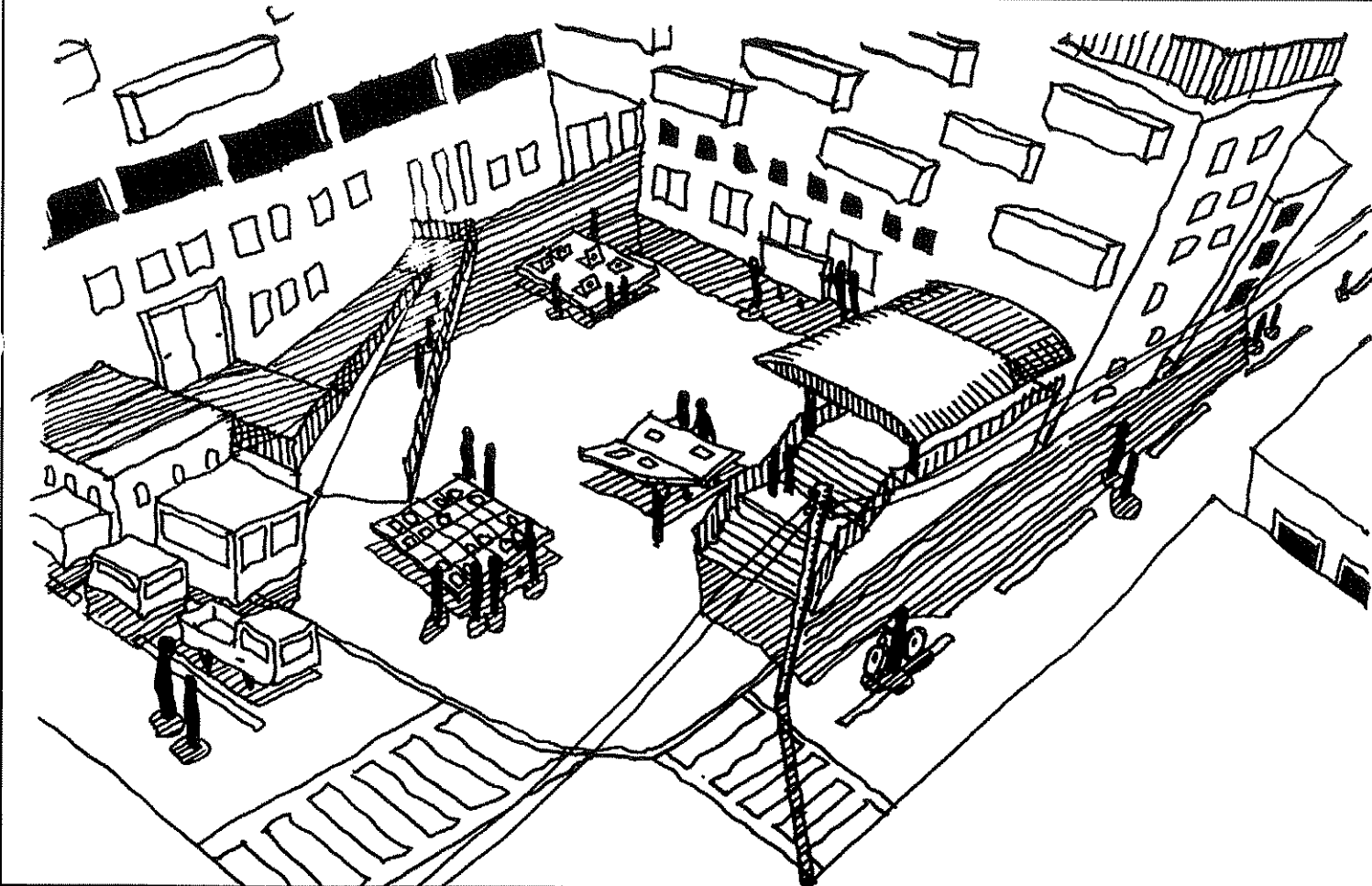
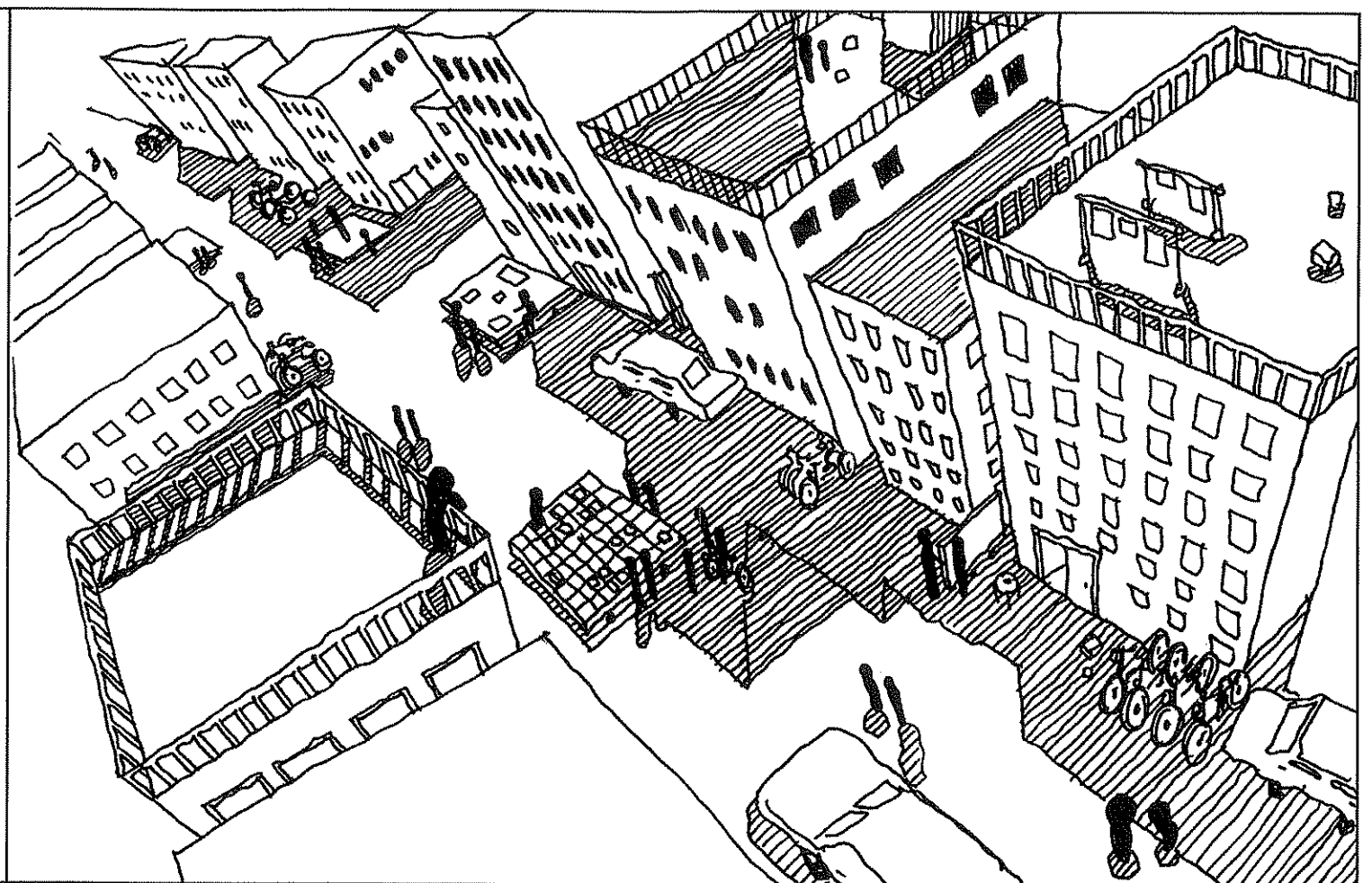
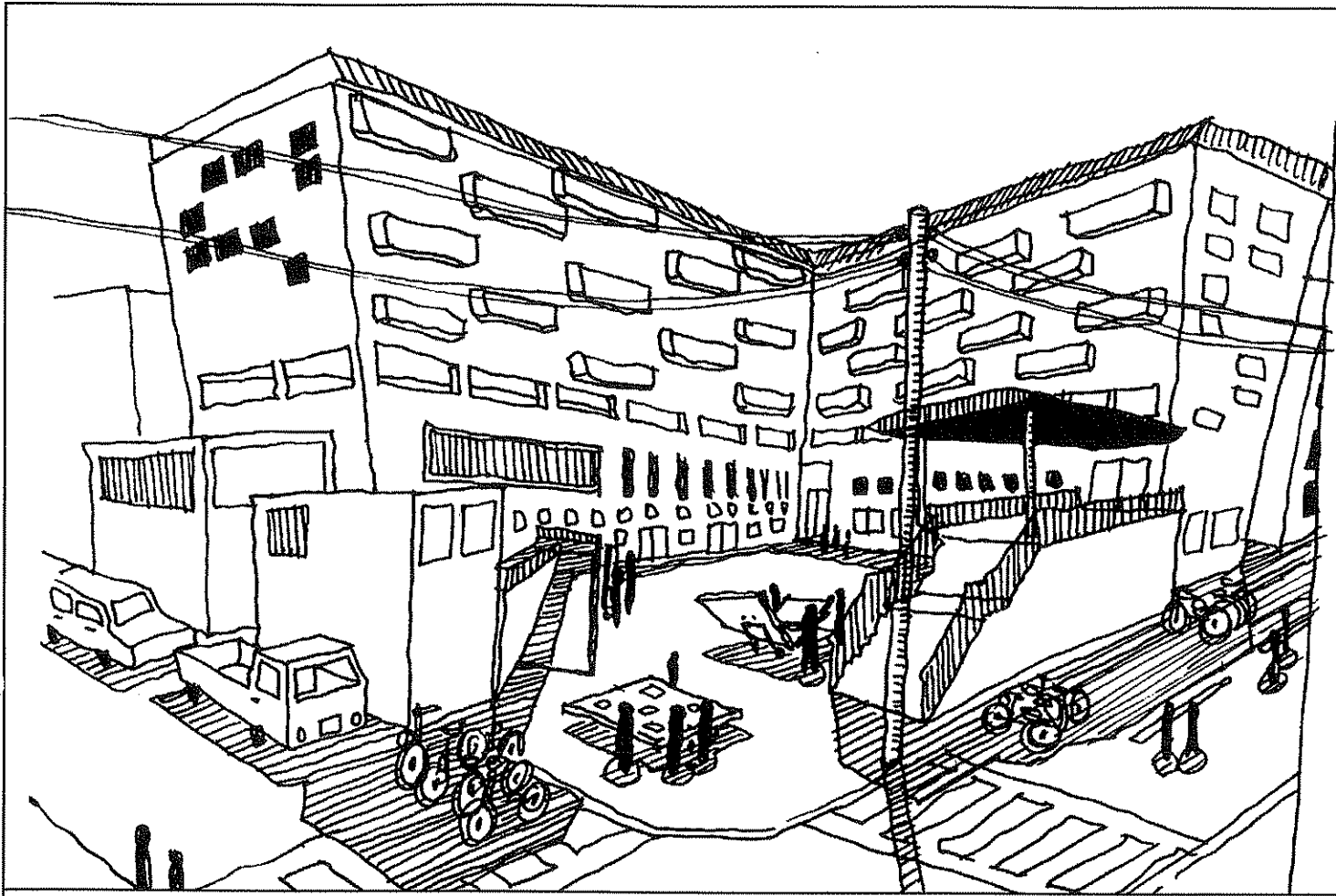
品番	品名	材料	個数	記事
1	台車センター	SUS304	1	正方形角パイプ35x35 t=1.2
2	台車サイド	SUS304	2	キャスター TAKIGEN K-415EA-75-R x2 K-420EA-75-R x2
3	足	SUS304	8	レベルアジャスター TAKIGEN KC-1275-A-5 x8
4	ボルト及びナット	SUS304	12	M12キャップボルト 長さ 60mm、85mm各4本 70mm、120mm各2本 ナイロンロックナット12個

ヨコハマ市民まち普請事業

キャスターフレーム

S = 1:15

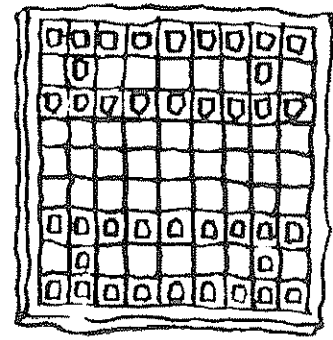




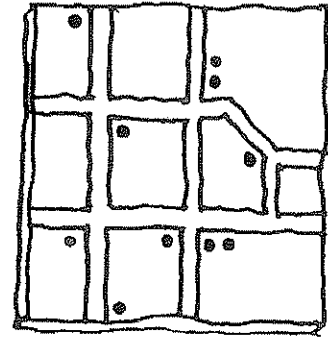
ヨコハマ市民まち普請事業

イメージパース

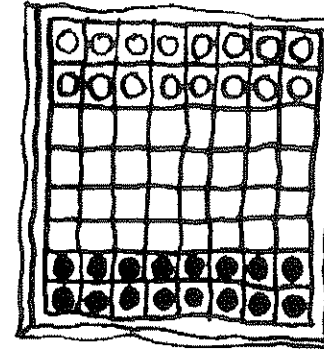
■アメニティボードデザイン例



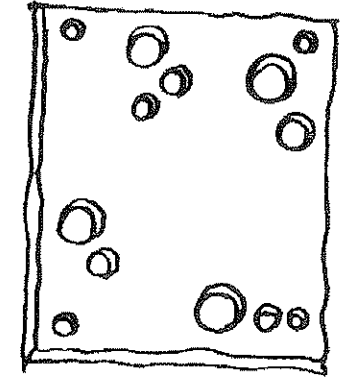
ジャンボ将棋



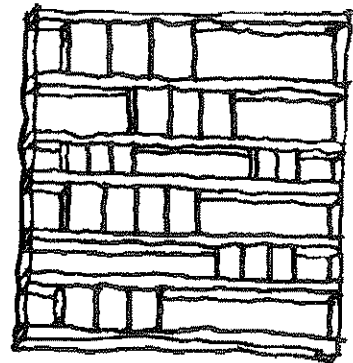
ヨコハママップ



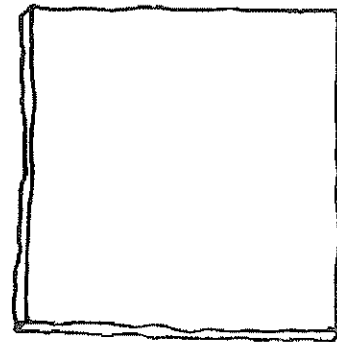
ジャンボチェス



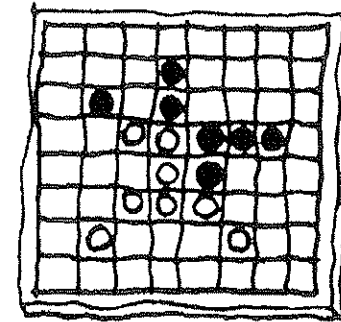
クッションボード



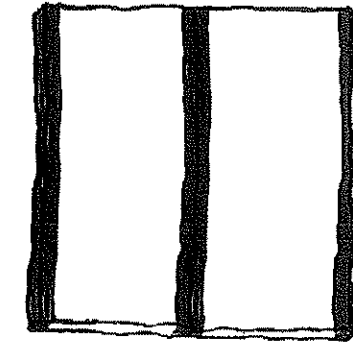
本棚ボード



プレーン

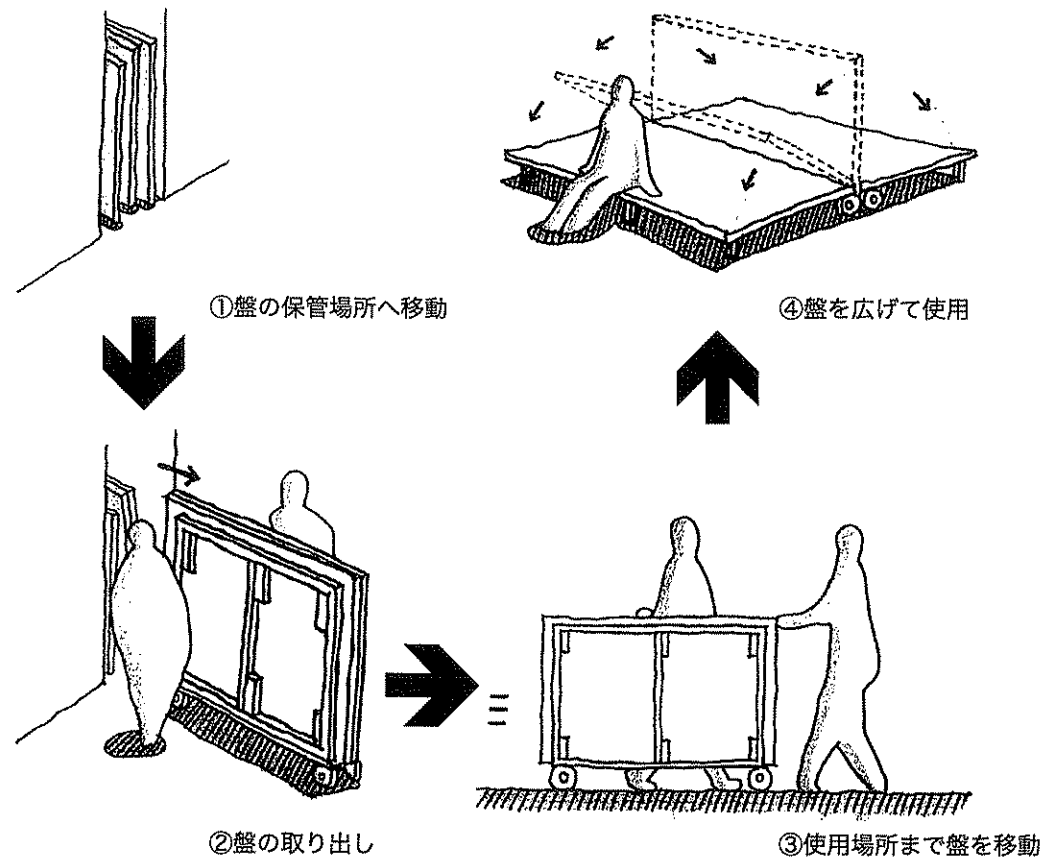


ジャンボオセキ



即席茶会セット

■アメニティボードの使い方 1



■アメニティボードの使い方 2

